

# 第42課：ために、のに

第42課整理兩個很容易被中文「為了、用來」混在一起的句型。ために 用來說明目的，重點是「我為了做某件事，所以做後面的行動」。のに 在今課有兩個方向：一個是說工具、地方或方法「用來做甚麼」，另一個是說完成某事需要多少時間、人數或金錢。

學習時先不要只看中文。看到ために，要問前面是不是一個明確目的。看到のに，要問它是在說用途，還是在說做某事需要的資源。第36課的ように 也可翻成「為了」，但它多數放目標狀態或避免發生的事；今課のために 則多數放說話人有意志去做的動作。

## ■ 今課目標

- 用 V 辭書形＋ために 表達明確目的，前面多是意志動詞。
- 用 名詞＋のために 表達為了某人、某事、活動或目標。
- 分清ために 和第36課 ように 的基本任務，不把能力目標硬套成ために。
- 用 V 辭書形＋のに使います 表達工具、地方或方法的用途。
- 用 V 辭書形＋のに 表達完成某事所需時間、人數、金錢或材料。
- 認得第42課 のに 不是第45課表示轉折的のに。

## ■ 今課的核心

第42課的主線是目的和用途。ために 先講『目的』，後面說為了這個目的而做的行動。のに 則把前面的動作名詞化，接到用途或所需資源上。兩者都常見，但任務不同。ために 問『為了甚麼目的』，用途的のに 問『用來做甚麼』，所需資源的のに 問『做這件事需要多少』。

### 三個入口先分工

句型	主要功能	例句
V 辭書形＋ために	為了做某個明確目的	日本語の新聞を <u>読むために</u> 、漢字を復習します。
名詞＋のために	為了某人、某事或活動	発表会の <u>ために</u> 、資料を準備します。
V 辭書形＋のに	用途，或完成某事所需資源	このアプリは単語を <u>覚えるのに</u> 使います。

# 一、V辭書形＋ために：為了做某事

## ■ 前面放明確目的

V辭書形＋ために 表示為了做前面的動作，所以做後面的行動。前面多數是說話人可以有意志地安排的動作，例如 留学する、資料を集める、試験に合格する、健康になる。後半句是為了這個目的而做的準備、努力或安排。

## ■ 形式規則

### V辭書形＋ために 的作法

步驟	檢查	例子
第一步	先找目的動作	日本へ留学する
第二步	保持辭書形／原形	留学する
第三步	接 ために	留学するために
第四步	後面說為了目的而做的行動	お金をためています

ために 前面用辭書形／原形。這裡不用意向形，也不用ます形。先把目的動作保持在辭書形，再接 ために。

## ■ 例句

1. 日本へ留学するために、毎月少しずつお金をためています。  
→ 為了去日本留學，我每個月一點一點儲錢。前面是明確目的。
2. 日本語の新聞を読むために、漢字を復習しています。  
→ 為了讀日文報紙，我正在複習漢字。後面是為了目的而做的準備。
3. 来週の発表で話すために、資料を集めています。  
→ 為了在下星期的發表中說明，我正在收集資料。
4. 健康を守るために、駅まで歩くようにしています。  
→ 為了保持健康，我平時盡量走路到車站。健康を守る 是說話人可以安排的目的。
5. 試験に合格するために、毎日三十分練習します。  
→ 為了考試合格，我每天練習三十分鐘。

## ■ 練習

一、用 V 辭書形+ために 完成目的句。先把目的動作保持在辭書形，再接 ために。

- ① 日本へ留学する、お金をためています → \_\_\_\_\_
- ② 漢字を覚える、毎日ノートに書きます → \_\_\_\_\_
- ③ 発表で話す、資料を集めています → \_\_\_\_\_
- ④ 試験に合格する、毎晩復習します → \_\_\_\_\_
- ⑤ 朝早く起きる、夜十一時までに寝ます → \_\_\_\_\_

## 二、名詞+のために：為了某人、某事或活動

### ■ 名詞入口要加の

ために 前面也可以放名詞。名詞後面要加の，再接 ために。這個名詞可以是人、活動、目標、將來安排或某個需要準備的事情。中文常譯成『為了……』，但日文形式要清楚寫成 名詞+のために。

#### 名詞+のために 的常見方向

名詞	意思	例句
家族	為了家人	家族のために、晩ご飯を作ります
発表会	為了發表會	発表会のために、ポスターを作ります
将来	為了將來	将来のために、英語も勉強しています
旅行	為了旅行	旅行のために、新しいかばんを買いました

### ■ 例句

1. 家族の**ために**、週末に晩ご飯を作ります。  
→ 為了家人，週末會煮晚飯。名詞 家族 後面要加の。
2. 発表会の**ために**、クラスでポスターを作りました。  
→ 為了發表會，班上做了海報。
3. 将来の**ために**、日本語だけでなく英語も勉強しています。  
→ 為了將來，不只學日文，也學英文。
4. 旅行の**ために**、駅の近くで円に両替しました。  
→ 為了旅行，在車站附近換了日圓。

## ■ 練習

二、用 名詞+のために 完成句子。留意名詞後面要加 の。

- ① 家族、晩ご飯を作ります → \_\_\_\_\_
- ② 発表会、資料<sup>しりょう</sup>を準備します → \_\_\_\_\_
- ③ 将来、日本語を勉強しています → \_\_\_\_\_
- ④ 旅行、新しいかばんを買いました → \_\_\_\_\_
- ⑤ 友だち、駅まで迎えに行きます → \_\_\_\_\_

## 三、ために 和 ように 怎樣分

### ■ 直接目的和目標狀態要分開

第36課的ように 常接可能形、ない形、見える、聞こえる、分かる 等狀態或能力目標。第42課的 ために 則多用在說話人有意志去做的明確目的。簡單說，為了做一個自己直接安排的動作，多數用 ために；為了達到某種狀態、能力，或避免發生，多數先考慮 ように。

#### ために 和 ように 的基本分界

句型	焦點	例句
V辭書形+ために	為了做自己有意志安排的動作	日本へ行くために、お金をためています
V可能形 ように	為了變成可以做到	日本語のニュースが聞けるように、練習しています
Vない ように	為了避免發生	忘れないように、メモします

## ■ 練習

三、選 ために 或 ように。先看前面是明確目的動作，還是能力、狀態、避免發生。

- ① 日本へ行く ( )、お金をためています。
- ② 漢字が読める ( )、毎日練習しています。
- ③ 忘れない ( )、スマホにメモします。
- ④ 会議で説明する ( )、資料を作りました。
- ⑤ 後ろの人にも聞こえる ( )、大きい声で話してください。

## 四、V辭書形+のに使います：用來做甚麼

### ■ 把動作變成用途

V辭書形+のに使います 表示某個工具、地方、材料或方法用來做甚麼。這裡的 の 把前面的動作名詞化，再用 に 接到 使います 上。它不是 ために 的目的句，也不是第45課的轉折 のに。

### ■ 形式規則

用途句的結構

部分	角色	例子
このアプリは	工具或方法	這個應用程式
単語を覚えるのに	用途	用來記單字
使います	使用	使用

說用途時，先把要做的動作放在辭書形，再接 のに使います。主題通常是工具、地方、方法、應用程式或材料。

### ■ 例句

- このアプリは単語を覚えるのに使います。  
→ 這個應用程式用來記單字。
- このはさみは紙を切るのに使います。  
→ 這把剪刀用來剪紙。
- 三階の自習室は静かに勉強するのに使います。  
→ 三樓自修室用來安靜地溫習。
- このノートは新しい文法を整理するのに使っています。  
→ 這本筆記簿用來整理新文法。
- この小さい箱はカードを入れるのに使います。  
→ 這個小盒子用來放卡片。

## ■ 練習

四、用 V 辭書形+のに使います 寫用途句。主題是工具、地方或方法。

- ① このアプリ、単語<sup>たんご</sup>を覚える → \_\_\_\_\_
- ② このはさみ、紙を切る → \_\_\_\_\_
- ③ この箱、カードを入れる → \_\_\_\_\_
- ④ このノート、文法を整理する → \_\_\_\_\_
- ⑤ 三階の部屋、静かに勉強する → \_\_\_\_\_

## 五、V 辭書形+のに：做某事需要多少

### ■ 時間、人數、金錢等所需資源

V 辭書形+のに 也可以接時間、人數、金錢等，表示完成某事需要多少資源。常見句尾有 がかかります、必要です、あります。這裡的 のに 不是用途的 使います，而是把前面的動作當成一件事，然後說做這件事需要多少。

#### 所需資源的 のに

所需內容	常見句尾	例句
時間	時間がかかります	駅まで歩くのに二十分がかかります
金錢	お金がかかります	新しいパソコンを買うのに十万円ぐらいがかかります
人數	人が必要です	机を運ぶのに二人必要です
材料或工具	N があります	作文を書くのに辞書があります

## ■ 例句

1. 学校から駅まで歩くのに、二十分ぐらいかかります。  
→ 由學校走到車站大約需要二十分鐘。
2. この申込書を書くのに、十分ぐらいかかりました。  
→ 填這張申請表大約花了十分鐘。
3. この机を運ぶのに、二人必要です。  
→ 搬這張桌子需要兩個人。
4. 新しいパソコンを買うのに、十万円ぐらいかかります。  
→ 買新電腦大約需要十萬日圓。
5. 作文を書くのに、辞書とメモがいります。  
→ 寫作文需要字典和筆記。

## ■ 練習

五、用 V 辭書形+のに 寫所需資源。留意句尾是時間、金錢、人數或材料。

- ① 学校から駅まで歩く、二十分かかります → \_\_\_\_\_
- ② 申込書を書く、十分かかりました → \_\_\_\_\_
- ③ この机を運ぶ、二人必要です → \_\_\_\_\_
- ④ 新しいパソコンを買う、十万円ぐらいかかります → \_\_\_\_\_
- ⑤ 作文を書く、辞書じしょがいります → \_\_\_\_\_

## 六、第42課のに 和第45課のに

### ■ 同一個外形，意思可以完全不同

今課的 のに 表示用途或所需資源。第45課會學另一個 のに，意思接近『明明……卻……』，表示轉折或不滿。兩者外形一樣，所以不要只看到 のに 就翻成同一個中文。今課判斷時先看後面是否有 使います、かかります、必要です、いります 這類字眼。

今課先認得的兩種 のに

用法	檢查問題	例句
用途	是否說某物用來做甚麼？	このアプリは単語を覚えるのに使います

用法	檢查問題	例句
所需資源	是否說做某事要多少時間、人、錢或材料？	駅まで行くのに三十分かかります
第45課轉折	是否在說明如此，結果卻相反？	まだ主線未學，今課只提醒不要混淆

## ■ 練習

六、判斷句子任務。寫 **A**、**B** 或 **C**。**A** ために 的**目的**，**B** のに 的**用途**，**C** のに 的**所需資源**。

- ① 日本へ留学するために、お金をためています。 → \_\_\_\_
- ② この辞書は漢字を調べるのに使います。 → \_\_\_\_
- ③ 駅まで行くのに三十分かかります。 → \_\_\_\_
- ④ 発表会のために、ポスターを作りました。 → \_\_\_\_
- ⑤ この仕事をするのに三人必要です。 → \_\_\_\_
- ⑥ この箱は古い写真を入れるのに使います。 → \_\_\_\_

## ■ 常見錯誤

- **×** 日本へ行くように、お金をためています。  
○ **日本へ行くために、お金をためています。**  
行く 是說話人有意志安排的目的，通常用 ために。
- **×** 留学しますために、勉強しています。  
○ **留学するために、勉強しています。**  
ために 前面用辭書形／原形，不用ます形。
- **×** 家族ために、料理を作ります。  
○ **家族のために、料理を作ります。**  
名詞接 ために 時要加 の。
- **×** このはさみは紙を切るために使います。  
○ **このはさみは紙を切るのに使います。**  
說工具用途時，本課主線用 V 辭書形+のに使います。
- **×** 駅まで歩くのに、でも疲れません。  
○ **駅まで歩くのに二十分かかります。**  
第42課 のに 表示用途或所需資源，不是第45課的轉折 のに。

## ■ 練習

自己輸出：寫六句。兩句用 V 辭書形+ために，一句用 名詞+のために，一句用 V 辭書形+のに使います，兩句用 V 辭書形+のに 表示所需時間、人數、金錢或材料。

- ① V 辭書形+ために： \_\_\_\_\_
- ② V 辭書形+ために： \_\_\_\_\_
- ③ 名詞+のために： \_\_\_\_\_
- ④ 用途 のに使います： \_\_\_\_\_
- ⑤ 所需資源 のに： \_\_\_\_\_
- ⑥ 所需資源 のに： \_\_\_\_\_

整理：畫三欄，分別寫 ために、用途のに、所需資源のに。每欄寫形式、中文意思、檢查問題和兩句自己的例句。

---

---

---

---

---

---

---

---